

<報道発表資料>

令和 8 年 9 月 2 8 日
京都市建設局みどり政策推進室

京都市建設局所管公園等（4 施設）の 指定管理者の候補となる団体の選定結果

京都市では、「京都市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例」に基づき、「宝が池公園子どもの楽園」、「京都市円山公園」、「京都市梅小路公園」、「東本願寺前市民緑地」の指定管理者の候補となる団体（以下「指定候補者」という。）を、学識経験者等で構成する京都市建設局指定管理者選定等委員会における意見聴取の結果、選定しました。

なお、選定された指定候補者については、指定候補者を指定管理者とする議案を本年 1 1 月市会に提案し、可決された場合には、指定期間開始時から本施設の運営に当たることとなります。

1 施設概要

別紙 1 のとおり

2 指定候補者

施 設 名 称	団 体 名	代 表 者 名	主たる事務所の所在地
宝が池公園 子どもの楽園	公益財団法人 京都市都市緑化協会	理事長 森本 幸裕	〒605-0071 京都市東山区円山町 4 6 3 番地
京都市円山公園	公益財団法人 京都市都市緑化協会	理事長 森本 幸裕	〒605-0071 京都市東山区円山町 4 6 3 番地
京都市梅小路公園	公益財団法人 京都市都市緑化協会	理事長 森本 幸裕	〒605-0071 京都市東山区円山町 4 6 3 番地
東本願寺前市民緑地	植彌加藤造園株式会社	代表取締役社長 加藤 友規	〒606-8425 京都市左京区鹿ヶ谷西 寺ノ前町 4 5

3 指定期間

令和 9 年 4 月 1 日（木）から令和 1 4 年 3 月 3 1 日（水）まで

4 公募の概況

(1) 応募団体

施設名称	応募団体名	応募団体数
宝が池公園 子どもの楽園	・公益財団法人 京都市都市緑化協会	1 団体
京都市円山公園	・公益財団法人 京都市都市緑化協会	1 団体
京都市梅小路公園	・公益財団法人 京都市都市緑化協会 ・阪神園芸株式会社	2 団体
東本願寺前市民緑地	・植彌加藤造園株式会社	1 団体

(2) 募集日程

内容	日程
募集要項及び申請書類様式の配布	令和 8 年 5 月 1 1 日
質疑の受付	令和 8 年 6 月 8 日～1 2 日
質疑の回答	令和 8 年 6 月 3 0 日
応募の受付	令和 8 年 7 月 2 7 日～3 1 日
書類審査及びプレゼンテーション審査	令和 8 年 8 月 1 7 日、2 0 日
指定候補者の選定	令和 8 年 9 月 8 日

5 建設局指定管理者選定等委員会委員

(五十音順・敬称略)

	氏 名	役 職 等
委 員 長	深町 加津枝	京都大学地球環境学堂准教授
副 委 員 長	小川 圭一	立命館大学理工学部環境都市工学科教授
委 員	安達 晃史	同志社大学政策学部准教授
	大庭 哲治	京都大学経営管理大学院教授
	熊澤 美和	公認会計士・税理士
	南部 啓子	税理士
	橋本 佳織	市民公募委員
	日浦 有里子	税理士
	山口 敬太	京都大学地球環境学堂准教授
	吉田 長裕	大阪公立大学工学研究科准教授

6 選定の概況

(1) 選定理由

京都市建設局指定管理者選定等委員会において、応募者の現状、事業運営計画（内容

面)、経営計画（財政面）等の審査基準に基づいて評価を行っていただきました。その結果、主に次の項目について、指定候補者が優れていると評価されました。

ア 宝が池公園子どもの楽園（指定候補者：公益財団法人 京都市都市緑化協会）

基準名	内容
管理運営の基本方針	子どもが主役の公園として、遊具や広場・四季の変化にあふれる自然を活かした多彩な遊びと学びで、子どもたちの潜在能力を引き出す取組が提案されている。 公園コミュニティを核とした市民協働のパークマネジメントで安心して集え、助け合える場を醸成していくことが提案されている。
サービスの向上 利用促進事業・ 自主事業に関する運営企画 地域交流及び地域貢献	施設の特性を活かしたプレイパークや自然遊びを実施する等、リアルな体験を通じて、子どもたちの自由な遊びと想像力を引き出す機会を創出する取組が提案されている。 また、リアルな体験に加え、その体験を、SNSをはじめとしたデジタル技術を用いて、誰にでもわかりやすく情報発信することが提案されており、利用促進事業及び自主事業における周知方法や賑わい増進に向けた更なる取組を期待したい。 地域交流及び地域貢献として、子育て情報交換の場の定期的な開催や、「宝が池の森保全再生協議会」への参加を通じて、森林再生や希少種保全に取り組むことが提案されている。
環境、景観、SDGs、 社会的弱者への配慮、 障害者の雇用、 男女共同参画、子育て支援	環境、景観、SDGsに関する取組として、公園内のシンボリックな木々を大切に未来に引き継ぐとともに、公園からつながる植生回復や希少種保全に取り組むことが提案されている。 また、インクルーシブ遊具の存在や使い方をPRすることや誰もが利用しやすい環境整備・プログラムの実施についても、提案されている。

イ 京都市円山公園（指定候補者：公益財団法人 京都市都市緑化協会）

基準名	内容
管理運営の基本方針	名勝円山公園の本質的価値とゾーニングを重視した管理運営を実施すること及び庭園文化の普及・技術の継承を行っていくことについて、提案されている。 このほか、地域を象徴する希少植物の保全に取り組み、自然との共生文化を広め、生物多様性の確保と施設のみどりとしての価値をさらに高めていくことについても、提案されている。
日常の維持管理計画 （長寿命化計画含む）	名勝円山公園保存管理計画や樹木維持管理方針に基づいた中長期的な保存管理の視点で、ゾーンごとの特性に合わせた維持管

	理を造園業界と連携しながら、実施することが提案されている。 また、ゾーンや眺望等に注目した管理を実施し、安全で眺望も楽しめるよう、景観上重要な樹木の剪定や樹勢回復等についても取り組むことが提案されている。
サービスの向上 利用促進事業・ 自主事業に関する運営企画 地域交流及び地域貢献	公式ホームページやＳＮＳの活用及び拡充により、観光に関する問い合わせへのスピーディーな情報提供や国内外からの旅行者、修学旅行生に向けた体験プログラムの情報発信を行い、新たな需要喚起を行うことが提案されている。また、施設や地域に関する歴史文化の情報や樹名板等のサイン類を充実させ、発信していくことが提案されている。 このほか、地域の歴史文化と関係が深い絶滅危惧種の保全と生きものの文化の発信及び継承をしていくことについても、提案されている。

ウ 京都市梅小路公園（指定候補者：公益財団法人 京都市都市緑化協会）

基 準 名	内 容
管理運営の基本方針	施設の魅力を伝える体験プログラムや、市民がみどりに親しむ憩いの場・健康づくりの場として各種講習会を開催する等、みどりの拠点として、みどり文化継承のための取組について提案されている。 また、公園周辺のエリアマネジメント組織等と協働し、大規模イベントの複数開催や庭園の夜間特別開園等、閑散期も含めた賑わいの創出に係る取組についても提案されている。
日常の維持管理計画 （長寿命化計画含む）	自然共生サイトに登録されている朱雀の庭・いのちの森の維持管理については、専門家も加えて、中長期的な視点のもと策定した管理指針に基づき維持管理することが提案されている。 また、生物多様性を高める魅力的な環境づくりに取り組むことについても、提案されている。
サービスの向上 利用促進事業・ 自主事業に関する運営企画 地域交流及び地域貢献	利用者の利便性の向上及び新たな需要喚起を図るため、公園ホームページを活用した施設利用状況の確認や申込システムを導入することが提案されている。また、ＳＮＳ発信を拡充し、幅広い年代層や国内外からの旅行者等に向けた体験プログラムの魅力発信についても提案されている。 大規模イベントや閑散期・夜間等における賑わい創出に関するイベントに加え、京都の日本庭園に関連する様々なみどりの文化に親しむための取組についても提案されている。

エ 東本願寺前市民緑地（指定候補者：植彌加藤造園株式会社）

基 準 名	内 容
管理運営の基本方針	周辺施設及び周辺地域を一帯として捉えたエリアの活性化や回遊性の向上についての基本方針が提案されている。 また、日常利用とイベント利用が調和する広場づくり等、近年の多様なニーズに対する管理運営の方針についても、提案されている。
日常の維持管理計画 （長寿命化計画含む）	施設の特徴を捉え、イベント利用と調和した維持管理や植栽管理を提案されており、利用者にとって快適な空間となるよう、多様なニーズに対応する維持管理計画が提案されている。 また、都会のなかの自然として、市民や来訪者に潤いをもたらす緑地としての価値を高めながら、施設にふさわしい景観を継承していくための管理方法についても提案されている。
サービスの向上 利用促進事業・ 自主事業に関する運営企画 京都駅周辺地域の活性化 及び回遊性の向上	施設の予約状況の確認や申込をホームページ上で実施できるようにする等、利用者の利便性向上や業務効率化に関する取組が提案されている。 一般利用において、マルシェイベント等が多い現状を踏まえ、自主事業において、文化・芸術、子ども関連等の利用分野で事業を実施し、多様な利用機会を創出することや、施設や周辺環境に調和した演出を行うことで、四季の移ろいを感じられる広場づくりに取り組むことについて、提案されている。 新たな人材配置により、京都駅周辺の企業等との連携を深め、地域性・広域性を備えたプロジェクトの誘致に取り組む等、京都駅周辺との連携を強化するための取組について提案されている。

（２） 審査結果

別紙２のとおり

<お問合せ先>

京都市建設局みどり政策推進室

電話：０７５－２２２－４１１４ F A X：０７５－２１２－８７０４